

平成26年度 中小企業労働事情実態調査結果 ～非正規雇用労働者の状況～

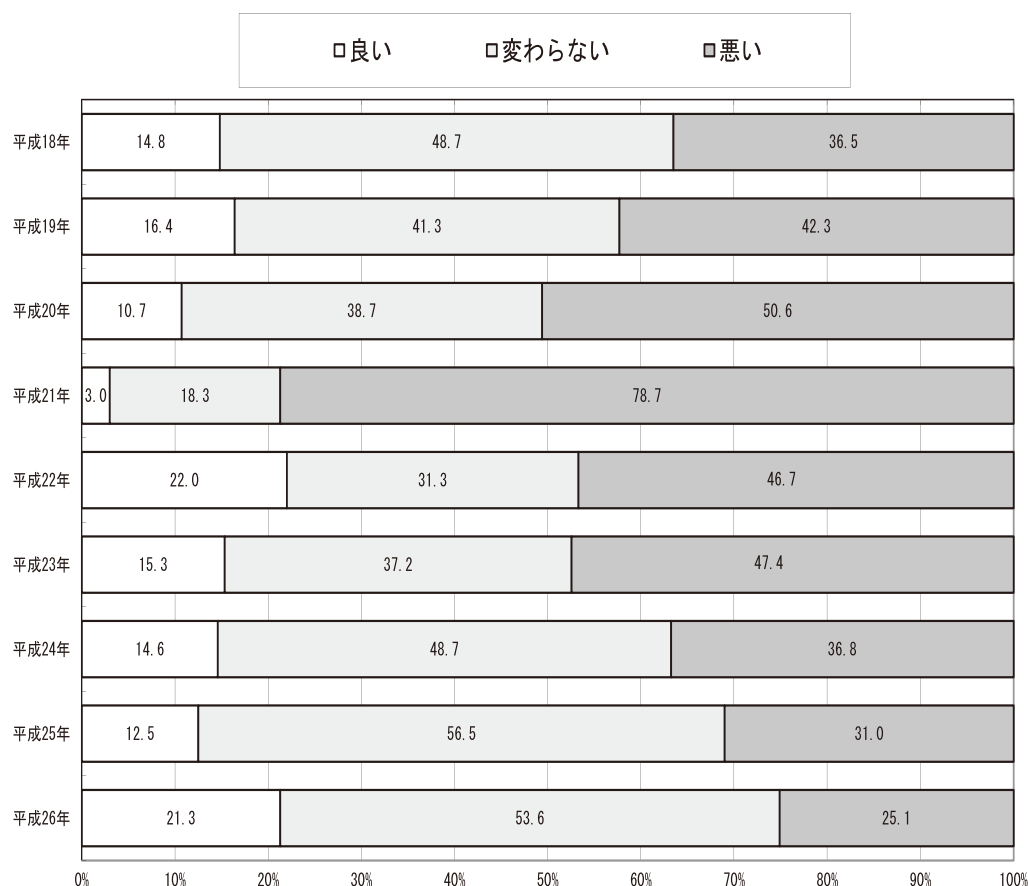
「中小企業労働事情実態調査」は、毎年7月1日を調査時点として全国一斉に実施されており、このほどその集計がまとまりました。

本県では、製造業715社、非製造業585社の合計1,300社を対象に郵送調査を行い、558社（製造業298社、非製造業260社）から回答をいただきました。

本稿では、県内中小企業の経営状況のほか、「非正規雇用労働者の状況」についてご紹介します。なお、詳細については本会ホームページをご覧ください。

<http://www.chuokai-gunma.or.jp/menu/frame04.htm>

経営状況（年度別）



1 経営状況

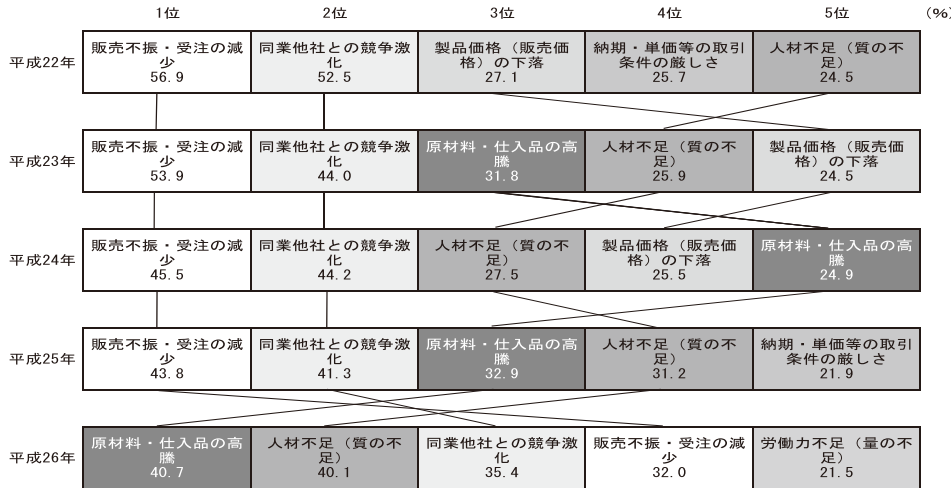
1年前と比べた経営状況について、「良い」とする事業所は、21・3%で、昨年（12・5%）より8・8ポイント増加した。また、「変わらない」とする事業所は53・6%

で、昨年（56・5%）より2・9ポイント減少した。
一方、「悪い」とする事業所の割合は25・1%で、昨年（31・0%）より5・9ポイント減少した。

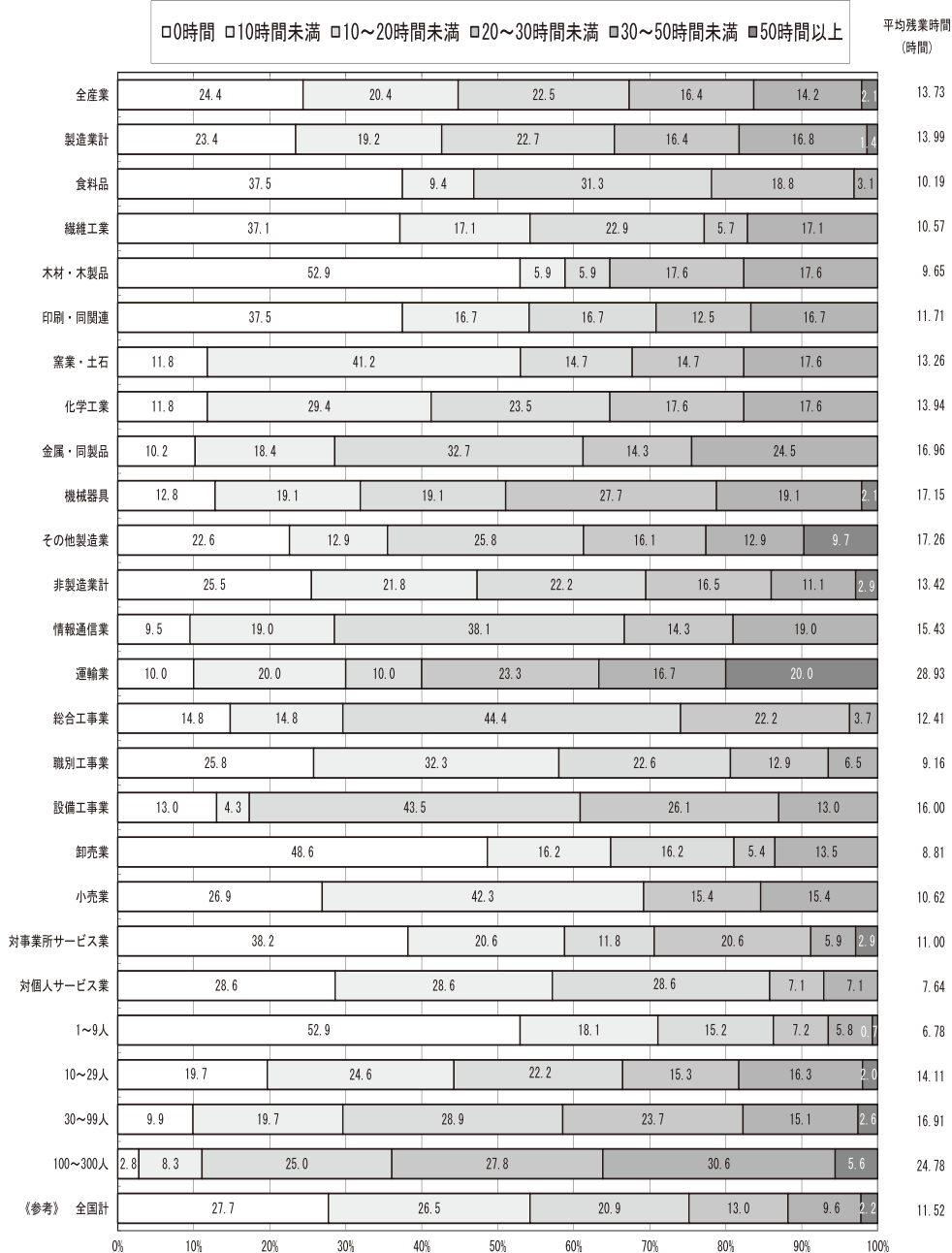
2 経営上のあい路

経営上のあい路については、「原材料・仕入品の高騰」が40・7%で第1位、「人材不足（質の不足）」が40・1%で第2位となり、過去4年とは異なる結果となった。前年第2位だった「同業他社との競争激化」が35・4%で第3位、次いで「販売不振・受注の減少」が32・0%となり、前年の第1位から第4位に後退した。「労働力不足（量の不足）」が21・5%で第5位となった。

経営上のあい路（過去5年間の上位5項目の推移 複数回答）



月平均残業時間（従業員1人あたり）



3 月平均残業時間（従業員1人あたり）

従業員1人当たりの月平均残業時間については、全産業で、「0時間」が24・4%で最も多く、次いで、「10～20時間未満」22・5%、「10時間未満」20・4%の順となった。

業種別の月平均残業時間をみると、最も多い業種は、「運輸業」で28・93時間、次いで、「その他製造業」17・26時間、「機械器具」17・15時間となっている。

4 非正規雇用労働者

◆非正規雇用労働者の比較

非正規雇用労働者が昨年と比較して増加しているかどうか聞いたところ、全産業で、「変わらない」が72・4%で最も多く、次いで「増加している」17・3%、「減少している」10・3%となっている。業種別でも、「変わらない」と回答した事業所が、製造業で69・3%、非製造業で76・2%と最も多くなっている。

規模別では、「100～300人」で、昨年と比較して非正規雇用労働者が「増加している」と回答した事業所が51・4%と最も多くなっている。

◆増加している非正規雇用労働者の雇用形態

前項で、昨年と比較して非正規雇用労働者が「増加している」と回答した事業所に、増加している非正規雇用労働者の雇用形態について聞いたところ、全産業で、「パートタイマー」が60・9%で最も多く、次いで、「派遣労働者」と「嘱託・契約社員」が25・3%、「その他」4・6%の順となっている。

◆非正規雇用労働者の雇用要因

非正規雇用労働者の雇用要因は、

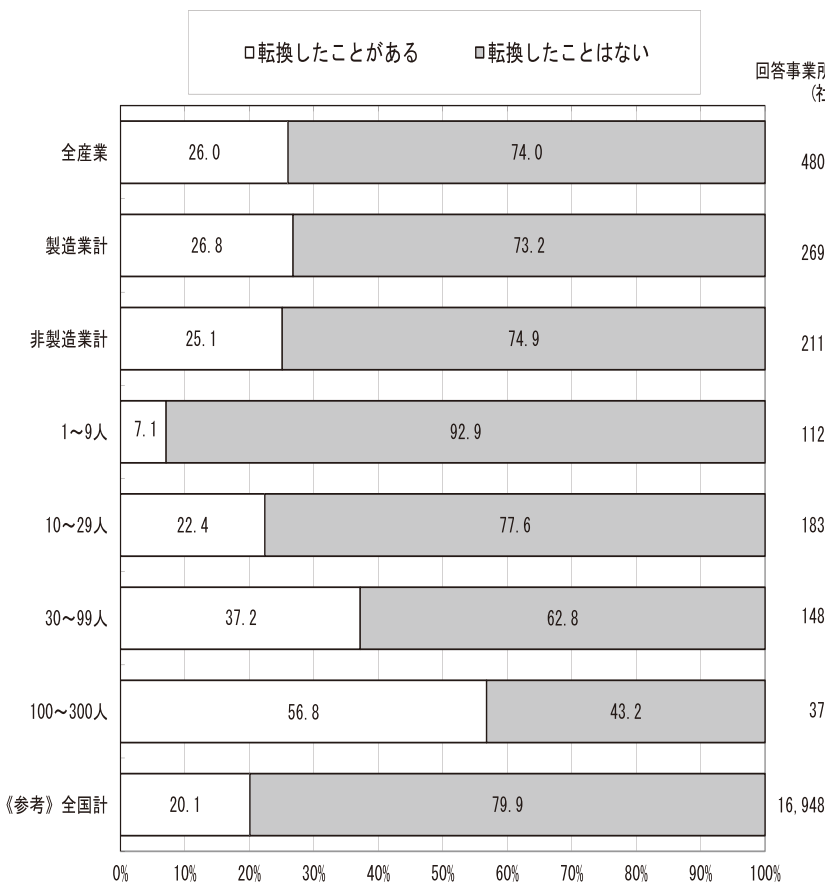
全産業で、「労働コスト削減のため」が40・7%で最も多く、次いで、「定年後の継続雇用制度を導入しているため」32・3%、「臨時的・一時的業務が増加したため」28・1%、「労働者が柔軟な雇用形態を求めるため」20・2%の順となっている。

◆非正規雇用労働者の正規雇用への転換

非正規雇用労働者の正規雇用への転換は、全産業で、「転換したことがある」26・0%、「転換したことはない」74・0%となっている。

規模別にみると、「転換したことがある」が、「1人～9人」7・1%、「10～29人」22・4%、「30～99人」37・2%、「100～300人」56・8%、「1000～3000人」56・8%となっており、規模

非正規雇用労働者の正規雇用への転換



が大きくなるにつれて、「転換したことがある」割合が増加している。

◆正規雇用へに転換するメリット

前項で、非正規雇用労働者を正規雇用へ「転換したことがある」と回答した事業所に、正規雇用へに転換するメリットについて聞いたところ、全産業で、「長期勤続、定着が期待できる」が82・3%で最も多く、次いで、「要員を安定的に確保できるようにする」31・5%、「非正規雇用労働者の雇用に対する不安感を払拭できる」と「技能の蓄積やノウハウの伝承が図られるようになる」が25・0%となっている。

◆正規雇用へに転換する上での課題

前々項で、非正規雇用労働者を正規雇用へ「転換したことがある」と回答した事業所に、正規雇用へに転換する上での課題について聞いたところ、全産業で、「課題はとくにない」が37・4%で最も多く、次いで、「正社員との仕事や労働条件のバランスの図り方」34・8%、「モチベーションを維持するための方法」17・4%、「業務量の変動に伴う労働条件の調整」16・5%の順となっている。